



西中の風

～ 凡事徹底 ～

伊丹市立西中学校

校長 阪本 直美

『1月も半ばを過ぎました』

1月も半ばを過ぎ大寒の時期に入ってきました。この大寒とは1月20日頃から立春までの約15日間の期間を指します。また、大寒は1年で最も寒さが厳しい時期とされており、寒さを耐えしのぐ季節と言われています。

さて、学校の方では、各学年とも比較的落ち着いた態度で生活することができています。特に3年生については、私学や特色選抜・推薦等の受検に向け日々緊張感を持って授業に取り組んでいます。本番が近づいてきますが、十分な睡眠時間を取り、規則正しい生活を心がけて元気に乗り切りましょう。

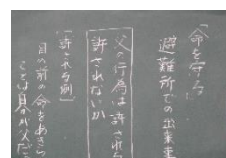
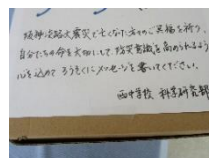
また、自分を信じ最後までしっかり取り組んでほしいと思います。今週から2月上旬にかけて面接練習を校長室で行います。本番を意識して練習に臨んでください。

Ⅰ【防災訓練がありました】

令和8年1月16日（金）に防災訓練がありました。訓練では、一人ひとりが放送や先生の指示を聞いて落ち着いて行動ができていました。また、事前の道德の授業等では、各担任の先生から震災について話を聞いたり動画を見たりしながら、命の大切さについてしっかり考えて、想いを込めてローソク（西中学生全員分は、西中科学研究部の人達が作ってくれました）に書いていました。

訓練後に話しましたが、災害はいつ、どこで起こるかわかりません。特に学校以外の場所で災害に遭った時に安全に避難できるよう、お家の人と連絡方法や避難経路等について確認しておくことが大事です。心の準備、物の準備、そして正しい知識を身につけて、毎日を大切に生活していきましょう。

また、1月16日（金）に、昆陽池公園で「追悼のつどい」がありました。本校からも生徒会役員と科学研究部の生徒が先生とともに参加し、みんなが書いたローソクを届けてくれました。



*31年前の震災の後に、当時の小学生が書いた「震災作文集」の中の詩です。
みなさんは、何を思いますか。

学校が5時間目まであって 給食もあって
ごくふつうのこと こんなにいやだなと思っていたけど
今は、その時にもどりたい
あたりまえが 一番いい